

NOMURA

財務部門

2010年5月10日

仲田 正史
執行役 CFO

1. 強固な財務基盤の維持

2. ROE向上のための取り組み

3. 株主還元

財務基盤の状況

自己資本比率

各種財務指標

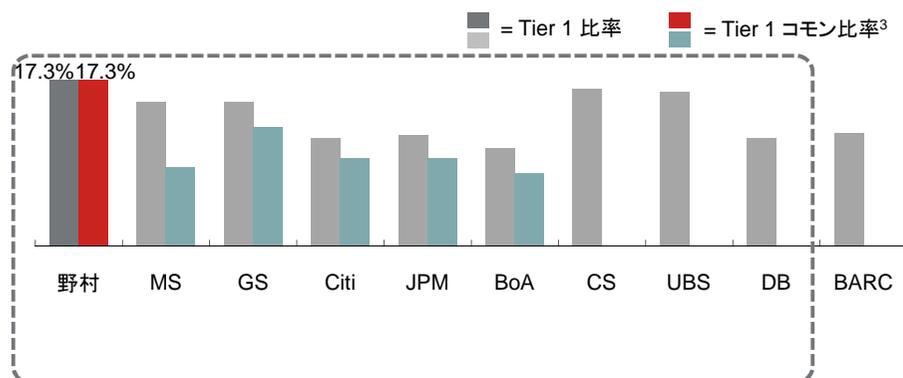
(バランスシート関連指標)

- 資産合計 32.2兆円
- 株主資本 2.1兆円
- グロス・レバレッジ 15.2倍
調整後レバレッジ 9.3倍
- レベル3資産¹ 0.9兆円
(デリバティブ負債相殺後)
- 手元流動性 5.2兆円

(速報値)	12月末	3月末
Tier 1	1,989	2,000
Tier 2	559	560
Tier 3	303	306
自己資本合計	2,789	2,806
リスク調整後資産	11,127	11,525
Tier 1 比率	17.8%	17.3%
Tier 1 コモン比率 ³	17.7%	17.3%
自己資本比率	25.0%	24.3%

自己資本比率比較

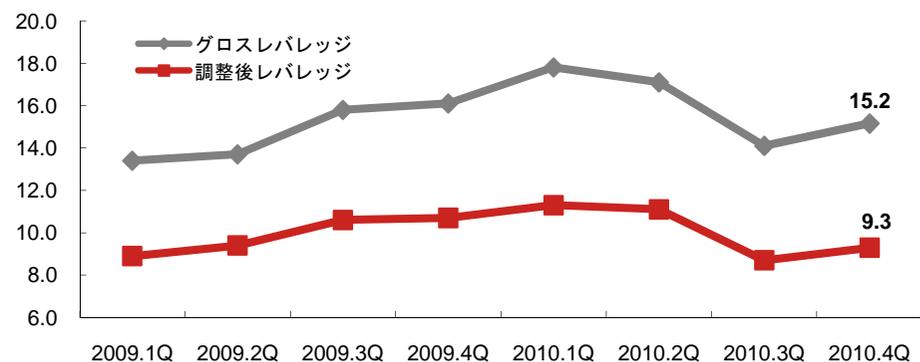
Tier 1 資本 / リスク調整後資産²



1. レベル3資産の数値はレビュー前の暫定数値
2. 競合他社の数値は括弧内が3月末、それ以外が12月末現在。野村のデータは3月末現在
3. Tier 1 コモン比率: Tier 1 資本 - ハイブリッド資本 - 非支配持分

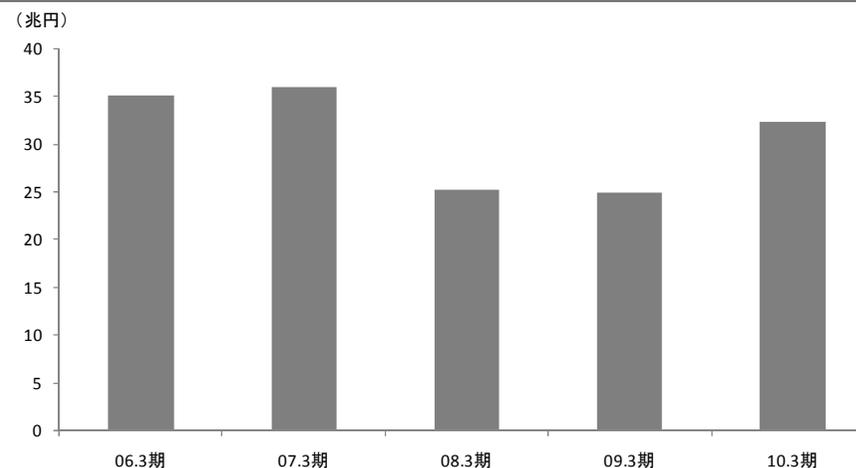
レバレッジレシオ推移

グロスレバレッジおよび調整後レバレッジ



B/Sの推移

総資産額



B/Sマネジメントの考え方



【2010年3月末(カッコ内は2009年3月末)】

- 手元流動性 5.2兆円 (2.4兆円)
- トレーディング資産 総資産構成比45% (46%)
- 対Tier1比レベル3アセット 44% (123%)

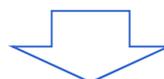
- グロス・レバレッジ 15.2倍 (16.1倍)
- 無担保調達資金に占める、長期負債+株主資本割合 79% (76%)
- 長期負債調達に占める海外調達比率 22%
- Tier1レシオ 17.3% (11.3%)

1. 強固な財務基盤の維持
2. ROE向上のための取り組み
3. 株主還元

ROEの構成

2010年3月期実績

財務レバレッジ		総資産収益率		収益純利益率		ROE
15.5倍	×	4.0%	×	5.9%	=	3.7%



中期的なターゲット

財務レバレッジ		総資産収益率		収益純利益率		ROE
20倍程度	×	4.0%以上	×	12.5%以上	=	10%以上

(1)総資産・株主資本は、期中平均ベース

(2)収益は、金融費用控除後

財務レバレッジと経営資源配分

B/S運営の考え方

20倍を上限として運営

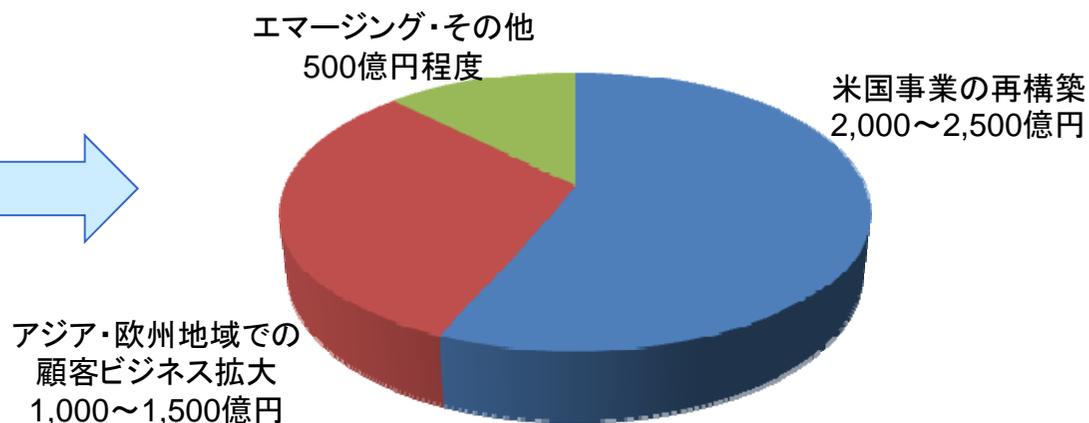
‘10年3月末財務レバレッジ
15.2倍

‘10年3月末総資産
32.2兆円

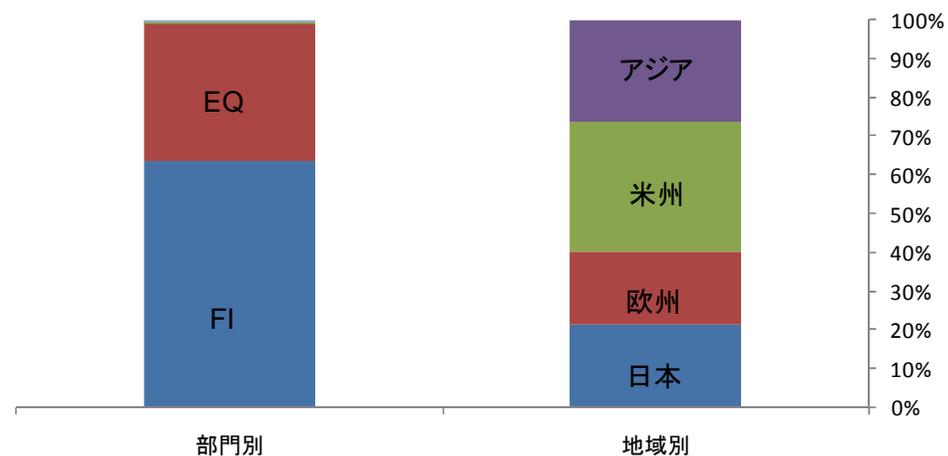
‘10年3月末株主資本
2.13兆円



2009年10月の増資による新規調達資本の配分計画(中期的なイメージ)



B/Sの追加的な配分構成(中期的なイメージ)



総資産収益率の向上

資産回転率の上昇

適正な収益性の確保

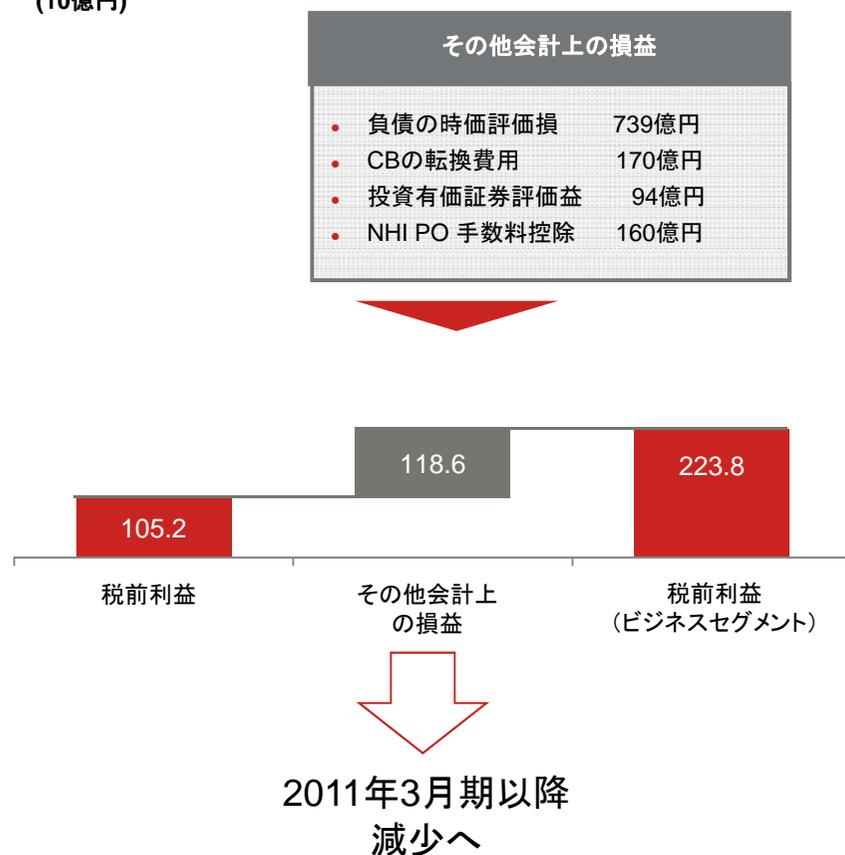
不稼動資産の処分

収益純利益率向上のための費用コントロール

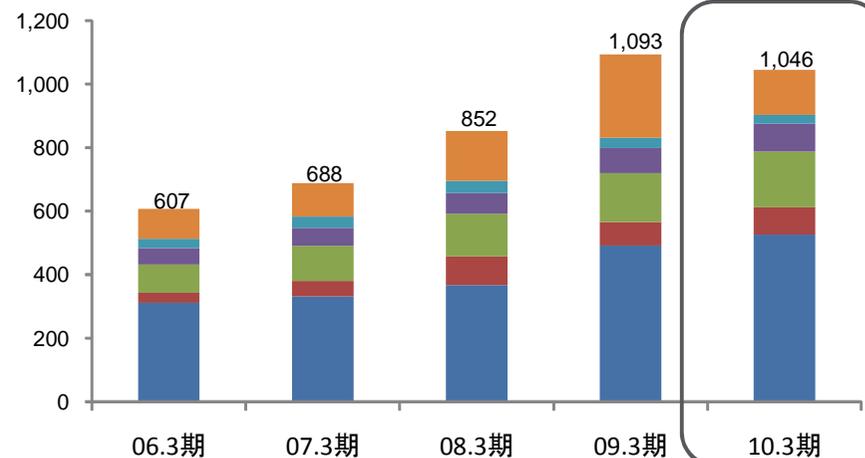
2010年3月期は、収益の約10%の会計上の費用を計上

人件費を中心に、費用削減が進捗

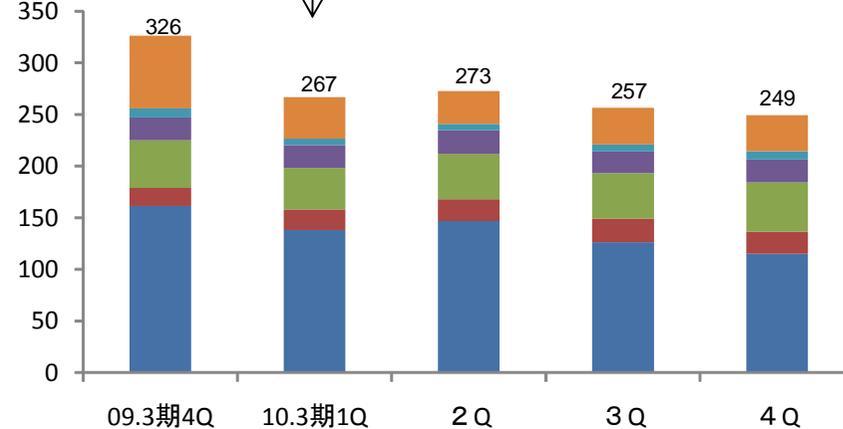
(10億円)



(10億円)



(10億円)



- 人件費
- 支払手数料
- 情報・通信関連費用
- 不動産関係費
- 事業促進費用
- その他

1. 強固な財務基盤の維持

2. ROE向上のための取り組み

3. 株主還元

株主還元方針

- 株主還元の基本方針: 株主価値の持続的な向上および配当を通じて実施
- 配当: 連結配当性向30%を重要な指標のひとつとし、安定的な支払いに努める
- バーゼル規制強化を始めとする国内外の規制環境の動向、連結業績をあわせて総合的に勘案し、決定

Nomura Holdings, Inc.
www.nomura.com/jp/